



# みやざき 学びのすすめ

【家庭・地域向け】

みやざきの子供一人一人が

生き生きと

進んで学び続けるために



hinata  
MIYAZAKI

学びに向かう力を育む

## ひなたの学び

「日本のひなた宮崎県」では、幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校と、すべての学びの場において、家庭・地域と連携しながら「ひなたの学び」を推進していきます。

**ひ**ひとりひとりが **問いをもち**  
どうして?なぜ?と問いをもちます

**な**なかまとなって **学び合い**  
いろいろな人とつながり、学び合い、考えを広げます

**た**たかめよう **深く考える力**  
自らの問いに対して、深く学び、さらに伸びていきます

『みやざきのこども』は、ひとりひとりが、生き生きと、すすんで学び、さんさんと光る太陽のように、みやざきの未来を明るく照らしていきます。

宮崎県教育委員会

## 宮崎県教育委員会

# 若竹の伸びゆくごとく子ども等よ真直ぐにのばせ身をたましひを

若山 牧水

「若竹が伸びゆくように、子供達よ、まっすぐにのばせ。身を、そして魂を。」

ふるさと宮崎の歌人、若山牧水は、子供のきれいな心を大切に思いながら、大正12（1923）年にこの短歌をよんだと言われています。

それからおよそ100年が過ぎ、日本では、気候の変動、人口の減少などの課題に加えて、社会の変化は速さを増し、今後の先行きが分かりにくくなっています。

## 宮崎県教育振興基本計画と「ひなたの学び」

宮崎県では、次の世代の子供たちをはじめ、県民一人一人が、宮崎や日本、そして、世界の未来を切り拓いていく人となるよう願いを込めて「**未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり**」をスローガンに掲げ、宮崎県教育振興基本計画をつくりました。

子供版としてまとめた教育振興基本計画もあります。



そして、みやぎきの子供一人一人が、これからの時代をたくましく生き抜く力である、「**学びに向かう力**」などの「**確かな学力**」を身に付けることができるように、「ひ・な・た」から始まるわかりやすい言葉で子供たちの学びの方向性について整理しました。「日本のひなた宮崎県」では、幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援教育学校と、すべての学びの場において、家庭・地域と連携しながら「**ひなたの学び**」を推進しています。

「ひなたの学び」の内容は、ポスターとプロモーションビデオで御覧になれます。



ポスター



PV



# よりよい授業をめざす 先生向け「みやざき 学びのすすめ」



県では、子供たちが「ひなたの学び」（「ひとりひとりが問いをもち」、「なかまとなって学び合い」、「たかめよう深く考える力」）で示す姿となるように、**先生向け「みやざき 学びのすすめ」**を配りました。学校では、子供たちが「おもしろい」、「楽しい」、「わかった」、「できた」、「もっと勉強したい」など、**学ぶ喜びを味わいながら、未来を生き抜くための学力をしっかりと身に付けることができる授業**をめざし、「みやざき 学びのすすめ」を参考にしながら、研修等に取り組んでいます。



先生向け「みやざき 学びのすすめ」のリーフレットと動画はこちらから見るができます。

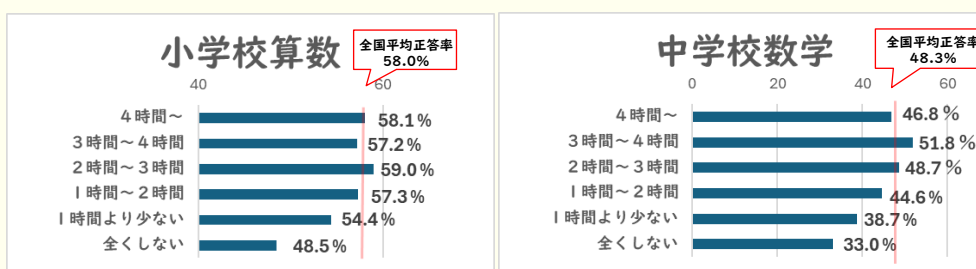


## 全国学力・学習状況調査結果からわかること

先生向けの「みやざき 学びのすすめ」では授業の何を、そして、どのようによりよくすればよいかを具体的に示すために、平成19年度から行われている**全国学力・学習状況調査**の結果を用いています。この全国学力・学習状況調査では、国が、学校の授業だけではなく、家庭や地域など学校外まで広げ、子供の学びについて調べています。宮崎県の調査結果を見てみると、**教科の結果がよい子供は、学校の授業以外で1時間以上学習をしていることがわかりました。また、学校の授業以外で1時間以上学習をしている子供はここ数年で減ってきている**ということもわかりました。

### 授業時間以外の学習時間と教科の平均正答率 ※1

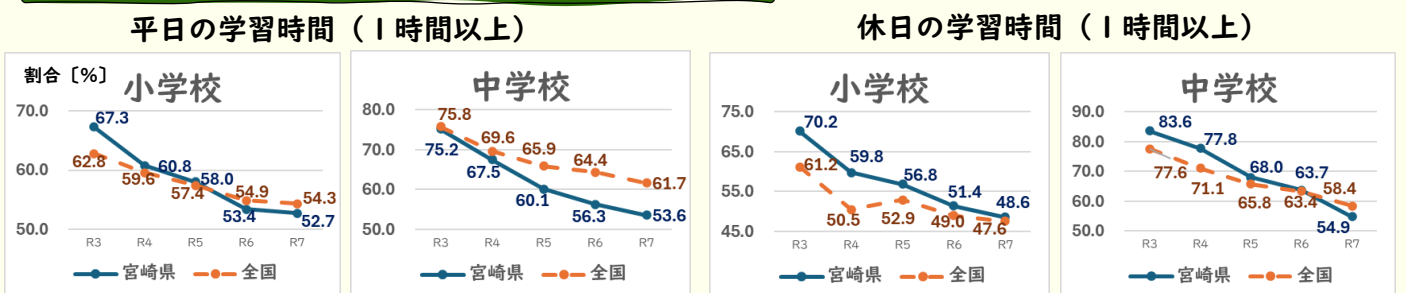
R7全国学力・学習状況調査小6・中3のデータ



※1 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」についての回答に対する算数・数学の平均正答率（問題数全体を100%としたときの宮崎県の児童生徒が正解した数の割合）

### 授業時間以外に、1時間以上学習する子供 ※2

R7全国学力・学習状況調査小6・中3のデータ



※2 「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という質問について、1時間以上を選んだ子供の割合

# 学校と家庭の学びをつなぐ取組

学校で子供たちが先生たちと学んでいる内容は、将来を生き抜くために欠かすことのできないものばかりです。だからこそ、学校の授業がとても大切であり、子供たちは一生懸命に授業で学んでいます。しかし、授業でできるようになったことでも、何もしないまま時を過ごすと、残念ながら、できなくなってしまうこともあります。

このようなことから、学校と家庭の学びをつなぐ取組が大切だと考えます。

学んだことを子供たちが自分のものにしながら、自ら学べるよう、例えば次のような「予習」や「復習」のしかたを学校で伝えていきます。

- 授業で解くことが難しかった問題に家庭で再挑戦するなど、「予習」や「復習」の内容や方法について、具体的に伝えています。
- テストに向けて、計画を立て、紙やICTのドリルなど、自分にあった方法で学ぶよう伝えています。
- 授業とつながりのある内容について、インターネットで調べてみたり、読書をしたりするよう伝えています。



## このようなお悩みありませんか？～学校と家庭の学びをうまくつなぐためのヒント～



勉強そのものが苦手  
で、机に向かおうと  
しません・・・



### <まずは会話から>

学校であったできごと等について問いかけてみませんか。

- ・ 「今日の算数では何を勉強したの？」
- ・ 「平均ってどういう意味？」
- ・ 「先生はどんなことを話していた？」
- ・ 「どうしてそう思ったの？」

できごと等を思い出して言葉にするだけでも、記憶がより深いものになるだけでなく、話を考え、組み立て、表現する力を伸ばすことができます。



### <ICTのよさを生かして>

ICTのドリルや動画等を使ってみませんか。

- ・ ICTのドリルは、子供の理解に合わせて問題が出たり、わかりやすい解説が音声や動画で流れたりします。
- ・ NHK for School等では、授業の内容にあったものが数多く集録されています。

どこからでも始められる、失敗しても何度も挑戦できる、クイズ形式で学べる、動画で振り返りができる等、ICTがもつ強みを生かして、楽しみながら力をつけることができます。



勉強のしかたがわからず、  
時間だけが過ぎて  
います・・・



このような学びを充実させるためには、家庭、地域での学びの応援が大切です。学校、家庭、地域が手を取り合い、学びの応援に挑戦してみませんか。

## 「みんな」で挑戦！学びの応援 ～例えばこのようなことから始めてみませんか～

「おはよう」、  
「行ってきます」など、  
気持ちのよいあいさつで  
一日を始めませんか。



子供のやる気や  
がんばりをほめ、  
よいところをさらに  
伸ばしてみませんか。



時間をうまく使う  
ために、ゲームや  
スマホなどのルール  
づくりに取り組んで  
みませんか。



手の届くところに  
本を置いたり、子  
供と一緒に本を読  
んだりしてみませ  
んか。



※ 本リーフレットを学校運営協議会等の場でぜひ御活用くださいますようお願いいたします。



みやぎき学び応援ネット  
(読書活動)

家庭や地域等での読書活動に役立つ案内や資料があります。

令和8年4月  
宮崎県教育庁 義務教育課